

特集「情報融合」に向けて

「情報処理学会論文誌：データベース（電子情報通信学会データ工学研究
専門委員会共同編集）」編集委員長

石川 博（静岡大学）† 仲尾 由雄（富士通研究所）†
横田 治夫（東京工業大学）†

今回の論文誌データベース（TOD30号）には2005年11月21日、22日にお台場の日本科学未来館で開催された「データベースとWeb情報システムに関するシンポジウム（DBWeb2005）」（情報処理学会データベースシステム研究会主催，電子情報通信学会データ工学研究専門委員会，同学会Webインテリジェンスとインタラクション研究会，日本データベース学会，ACM SIGMOD 日本支部，日本PostgreSQLユーザ会，日本MySQLユーザ会，Firebird日本ユーザ会協賛）で発表された論文8件が含まれています。このシンポジウムは「情報融合」をテーマとして設定し，さまざまな情報・コンテンツの融合や，関連する情報技術・応用技術の融合について議論することを目的として，下記のような一般セッションと特別セッションからなるシンポジウムとして開催されました。

- (1) 一般セッション
P2P，XML・ストリーム，マルチメディアコンテンツ・コンテンツ応用，Web検索，情報検索，情報獲得と流通，システム応用
- (2) 特別セッション
ユビキタスデータ管理の最新動向，検索ビジネスの最新動向，ナレッジマネジメントの最前線，OSS（オープンソースソフトウェア）コミュニティとの連携

本論文誌編集委員会は，このシンポジウムを対象として下記のような特集号担当編集委員会を構成し，シンポジウムへの論文投稿時に，本論文誌データベース（TOD30号）への同時投稿を可能とし，同時投稿であり，かつシンポジウムに採録された論文については，シンポジウムにて，編集担当委員より適切で親切なコメントを行うことを原則とした論文募集を行いました。

特集号担当編集委員会：石川 博，有次正義，片山 薫（ゲスト編集委員），木俣 豊（ゲスト編集委員），

土田正士（ゲスト編集委員）

それらの論文の中から，次の8件の論文が採録され，本論文誌（TOD30号）に掲載されています。

- (1) 階層的分類における複数の意味を持つデータの利用
- (2) Combining Page Group Structure and Content for Roughly Filtering Researchers' Homepages with High Recall
- (3) 複数の作成者情報付文書からの専門用語抽出
- (4) ズーミング・クロスメディア——構造化コンテンツにズーム操作を関連付ける記述言語
- (5) SLAX: An Improved Leaf-Clustering Based Approximate XML Join Algorithm for Integrating XML Data at Subtree Classes
- (6) U-Cam：実空間遍在カメラのユーザ駆動制御と記録コンテンツの動的提示
- (7) WA-TV：次世代蓄積型テレビのための番組コンテンツのウェブ化と情報補強
- (8) コンテンツ間距離の標準偏差に基づくWebページ動的分割方式

このシンポジウムにおいて，本論文誌への投稿を前提とした議論を行う過程は，著者にとっては大変有意義なものであると考えられるので，今後もこの形態の論文募集を実施していく予定です。

† 「情報処理学会論文誌：データベース」共同編集委員長